

## 1 学期始業式における講話要旨

日 時 令和6年4月8日（月）

9時00分～9時30分

場 所 釧路市立北中学校体育館

おはようございます。

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

こうして皆さんと新しい年度を迎えることができ、とても嬉しく思っています。

今日が1年のスタートです。

皆さんも新しい学年のスタートに当たり、新しい目標を立てたり、計画を立てたりしていると思います。

私も、今日から新しい気持ちで、教職員の皆さんと協力しながら、自分の仕事をしっかり行い、皆さんが過ごしやすい北中学校になるよう、また意義のある1年間になるよう、努力したいと考えています。

この1年が、お互いにとってかけがえのないよい年になるように、それぞれの目標に向かって1歩ずつ努力を積み上げていきましょう。

さて、私は教師として35年目を迎えました。

実は、私が教師になった初めての年に買って、それ以来、ずっと使い続けている文房具があります。

それが、紙に穴を開ける穴開けパンチです。

私は、今でもこの道具を買ったときのことを覚えています。

ある日学校に、学校の教材を扱っているお店の人がやって来ました。

私はそのとき、穴開けパンチを1つ注文したいと思い、お店の方にカタログを見せていただきました。

するとそのカタログの中に、「多機能型文房具」のページがありました。

一気に気持ちが傾き、穴開けパンチに加えて、ホチキスやハサミ、メジャー

などが一緒になっている「多機能型文房具」を注文しようと思いました。

すると、そのお店の方がこう言ったのです。

「富田さん、確かにいろいろな機能が一緒になっていて便利かもしれないけど、その分、一つ一つの文房具としての機能は低いですよ。穴開けパンチの機能も付いていますが、使い続ければすぐに壊れてしまうでしょうし、紙の大きさも時代によって変わっていきます。だから、穴を開ける位置が調節できる機能が付いたこの穴開けパンチをお勧めしますよ」

それで、私はお店の方に薦められた穴開けパンチを買いました。

その穴開けパンチは、紙に穴を開けるといふ、基本中の基本のことしかできません。

しかし、お店の方がそのときに言った通り、それから30年以上使っても、一度も壊れることなく、買ったときと同じようにずっと使うことができている。

さらに、紙の大きさも、教師になって15年目ぐらいまでは「B5版」というサイズが主流でしたが、それ以降は「A4版」が主流になり、穴を開ける位置が調節できる機能が役立ちました。

そのお店の方は、先の時代のことも見据えて、私にその穴開けパンチを薦めてくれたのだと思います。

皆さんも是非、「未来の自分の姿を見据えて、基本をしっかり身に付ける」という意識をもって、新学期をスタートしてほしいと思います。

未来を見据えて、基本を身に付けるための地道な努力は、いつまでも皆さんの役に立つはずですよ。

今年度も共に北中学校を創っていきましょう。そして、北中学校をますますよい学校にしていきましょう。